

平成21年度 第3回次世代育成協議会・部会 論点整理メモ

平成21年9月3日

新宿区子ども家庭部子ども家庭課

	論点	対応
1	「目標1 - 2 子どもの生きる力を育てるために」の中に思春期や若者への支援も含まれているが、義務教育終了後の者も対象となるため、「子どもの」という括りの中よりも、目標5の方が適しているのではないか。	・思春期・若者の支援については、子どもの生きる力を育てることが自立支援につながっていくとの考え方から、このカテゴリーの中に位置づけたい。
2	目標1で「『 ために』という表現を統一して使用」しているが、他の目標に係る項目についても、統一して「ために」を使用してもよいのではないか。	・「ために」を使用できそうな項目について検討したが、使用することにより、意味やニュアンスが異なってしまうため、このままでいきたい。
3	目標4「安心できる子育て環境をつくります」の「もっと安全なまちづくり」について。「安全」は、危険でないことの手立て、「安心」は心の問題であり、異なるものである。「安心」を加えてはどうか。	・「安心」を加える方向で、検討していきたい。 例;「もっと安全で安心なまちづくり」
4	目標5 2「男女がともに自分らしく生きられるために」の「男女」の表現について、新宿という地域特性を考えると、男性と女性の性別のみに捉われない表現も検討の余地があるのではないか。例えば「すべてのひとが」「一人ひとりが」など、その人らしく、それぞれが自由に生きられる社会を目指す表現はいかがか。	・「男女共同参画社会の実現」については、「男女共同参画社会基本法」に基づく「新宿区男女共同参画推進条例」で目指しているところである。また、この次世代育成支援計画の中で、ワーク・ライフ・バランスの目標を掲げた理由のひとつとして、特に男性の育児参加の促進の意図もある。 また、性別にとらわれない取組みの必要性については、素案の本文中(目標5 - 2)で謳っており、新宿区としてのメッセージも込めて文章化しているため「男女」の表現についてはこのままでいきたい。
5	目標4では、中項目のほとんどが「 づくり」となっている。目標4 - 2「子どもと一緒にのおでかけが楽しくなるまち」を、「子どもと一緒にのおでかけが楽しくなるまちづくり」としてはいかがか。	終了後に出たご意見